

「加東市子ども・子育て支援事業計画」

計画策定に向けたアンケート調査について

(1) 調査の考え方

計画には計画期間(平成27年～31年)の

「量の見込み」「確保の内容」「実施時期」を記載する必要があります。



量の見込みは「現在の利用状況」と「今後の利用希望」を踏まえて設定

⇒「今後の利用希望」を把握するために、アンケートを実施します。

- ・教育・保育施設や子育て支援事業の利用に関する保護者の意向
- ・子どもや保護者のおかれている環境・事情 など

(2) 調査対象

- **調査の実施者** 加東市(国の質問例を参考に、子ども・子育て会議の意見を反映し、市が作成します)
⇒今回の子ども・子育て会議の主題

- **調査の対象者** 就学前(0～5歳)の子ども、小学生

国では、就学前(0～5歳)の子どもを主たる対象と考え、小学生に対するアフタースクール(学童保育)の利用希望の把握については市町村の判断に委ねています。加東市ではアフタースクールのニーズを的確に把握するため、小学生にもアンケート調査を実施することとします。

(3) 調査内容

① 家庭の状況

子どもの数、配偶者の有無、子どもの育ちをめぐる環境、
保護者の勤労状況など

② 教育・保育サービスの利用状況

保育所、幼稚園、アフタースクール、病児・病後児保育施設、
育児休業制度などの利用状況

⇒1日では？ 1週間では？ 1年間では？ 何時から何時まで？
子どもが何歳になるまで？ などを詳しく把握して計画策定に活用します。

※質問内容については、国が指定する必須項目が大半を占めるので、市の裁量の
余地は少ない。いかに分かりやすい表現にするかがポイント。

(4) 調査概要

- 実施時期 平成25年12月10日から約2週間
- 対象世帯数
 - ・就学前の子ども 1,200通
 - ・小学生 800通
- 抽出方法 無作為抽出(同一家庭が重複して調査対象にならないよう調整します)
- 調査方法 郵送により配布、回収(返信用封筒を同封)